

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年8月24日(2006.8.24)

【公開番号】特開2005-103039(P2005-103039A)

【公開日】平成17年4月21日(2005.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2005-016

【出願番号】特願2003-341642(P2003-341642)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/11 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月5日(2006.7.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

左右方向に離れた2つの指標を備えた指標板を固定した眼鏡を被測定者に装着し、前記指標板から所定距離離れた位置にカメラを配置し、被測定者が前記カメラ近傍を注視した状態で被測定者を撮影し、撮影画像上における被測定者の左右の瞳孔間の見掛け距離を測定し、以下の式(1)に基づいて被測定者の瞳孔間距離PDを求めることを特徴とする瞳孔距離測定方法。

$$PD = [(A + B) \times C \times E] / (A \times D) \dots (1)$$

ただし、

A：前記指標板から前記カメラまでの距離、

B：被測定者の眼球回旋中心から指標板までの距離、

C：左右の眼球回旋中心を結ぶ直線と平行な方向における実際の指標間距離、

D：撮影画像上での左右の眼球回旋中心を結ぶ直線と平行な方向における指標間の見掛け距離、

E：撮影画像上での被測定者の左右の瞳孔間の見掛け距離である。

【請求項2】

左右方向に沿って距離目盛が形成されたスケール板を固定した眼鏡を被測定者に装着し、前記指標板から所定距離離れた位置にカメラを配置し、被測定者が前記カメラ近傍を注視した状態で被測定者を撮影し、撮影画像上で前記スケール板の目盛を利用して前記スケール板の位置を基準にした瞳孔間の距離を測定し、以下の式(6)に基づいて被測定者の瞳孔間距離PDを求めることを特徴とする瞳孔距離測定方法。

$$PD = \{ (A + B) \times F \} / A \dots (6)$$

ただし、

A：前記指標板から前記カメラまでの距離、

B：被測定者の眼球回旋中心から指標板までの距離、

F：前記スケール板の目盛を利用して測定された前記スケール板の位置を基準にした瞳孔間の距離である。